

協働評価シート

事業名		川柳で新居浜を詠もう 「全国誌上大会」	実施年度	平成24年度
部 局		教育委員会事務局	課 所	スポーツ文化課
団体等の名称		にいほま川柳会		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	A
			市	A
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

<p>団体等</p>	<p>一般の部の市内はもとより全国43都道府県から、またジュニアの部を担当したスポーツ文化課のご努力により、想定を遥かに超えたご応募をいただき感動しています。 昨年11月には香川県から、今年に入って東京・福井・広島・熊本県より、事業に応募してくださった方々から来新したお知らせをいただき、記念事業の成功を確信いたしました。 ただ一点、体調を崩して入選句発表一覧表の発送が12月になり各関係者にご迷惑をかけた事が残念でなりません。</p>
<p>市</p>	<p>日本全国からたくさんの投句をいただき、新居浜市の歴史、文化を広く発信し、また、ふるさと新居浜を見つめなおす絶好の機会となった。小・中学生のジュニアの部も初めて作ったとは思えないほどの力作が多く、子どもたちの感性の豊かさ、発想力をあらためて感じる事ができた事業であった。</p>
<p>相互協議 結 果</p>	<p>インターネットによる投句も受け付けたので、いつでも、誰でも応募することができたので、気軽な気持ちで応募してもらえたのではないかと。協働事業のメリットであるそれぞれの特性を生かした結果、全国から投句をいただくことができ、目標は達成された。</p>